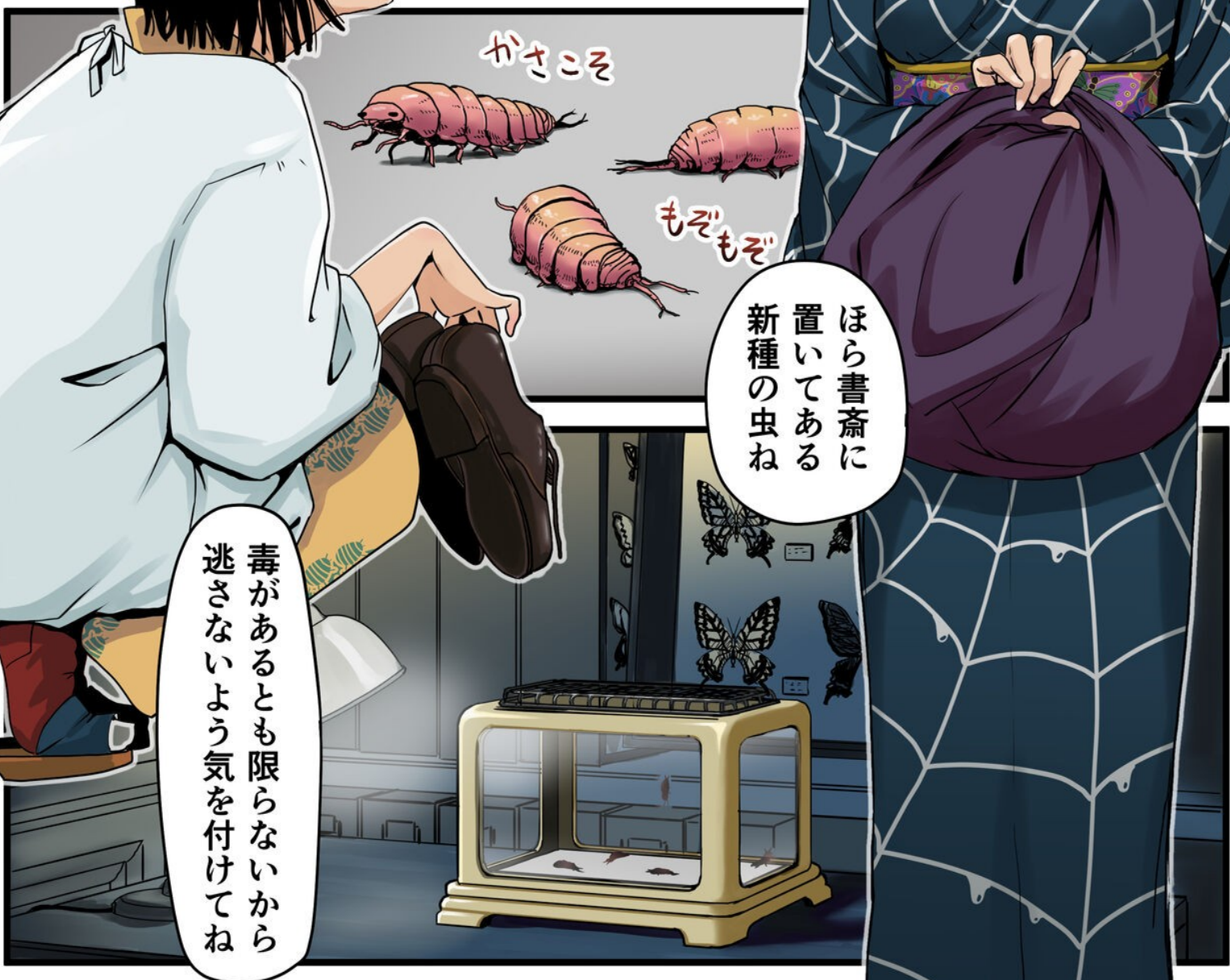
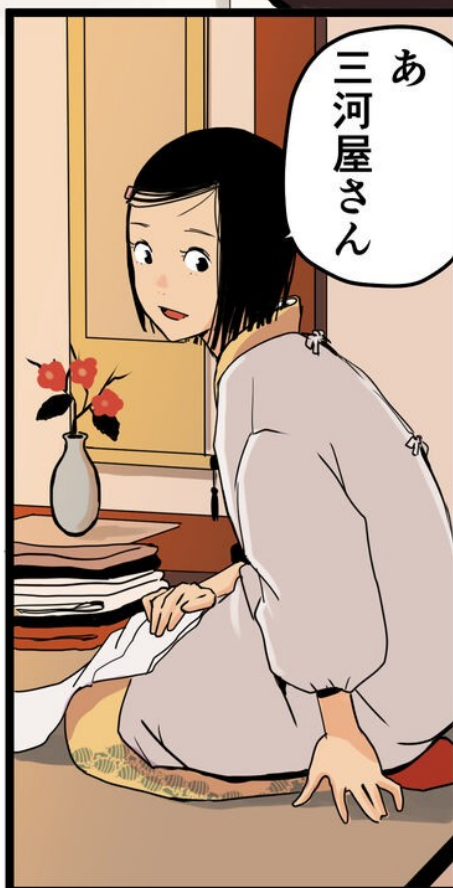
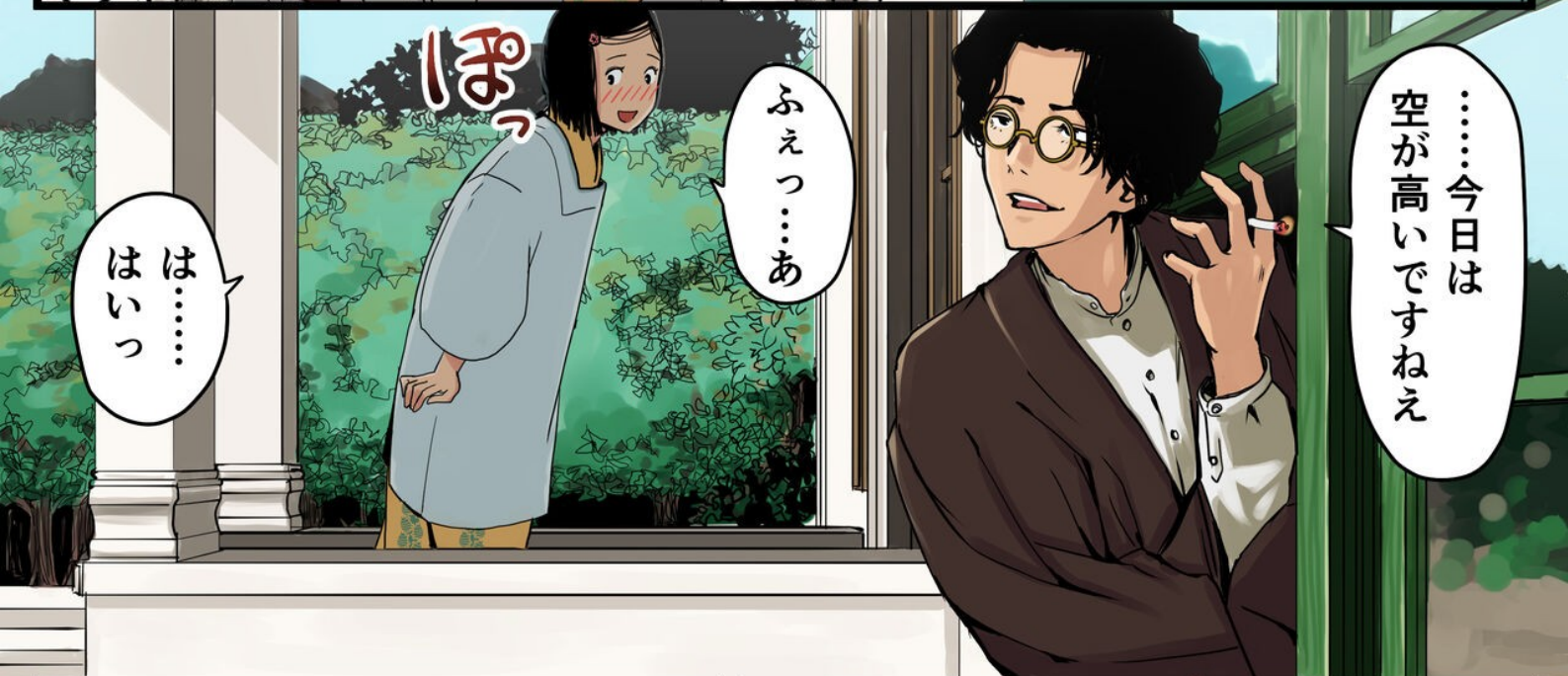




淫気の虫



制作 東小岩ふともも宇宙研究所





毎度ありっ



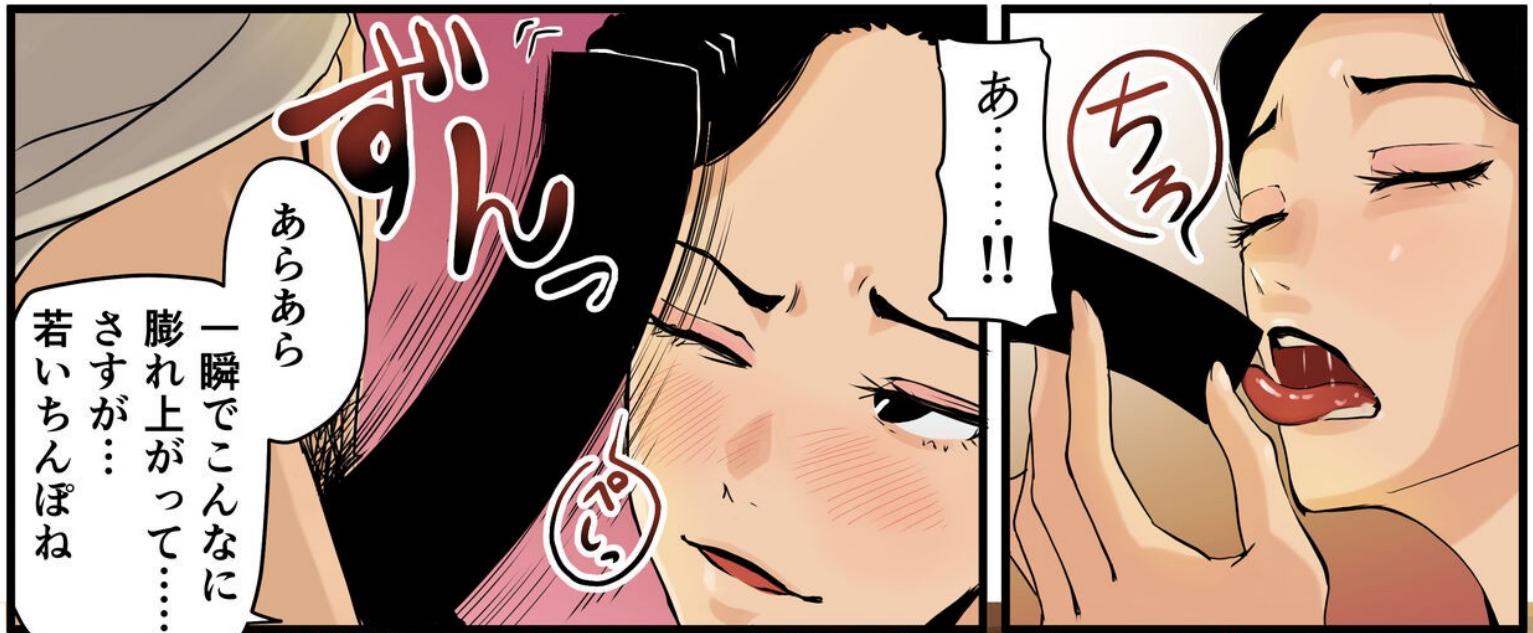
ああ待って三河屋さん
追加で1本
お願いしようかしら



へいっ
何を
ご所望で?
.....









そ…そんな……
だ
射精したばかりなのに

それにお内儀さん

俺……俺まだ

女知らないんで

違う
そこは肛門おしり

もう少し下……そう
そこ
其処……

ずる
ずる

ハアアアツ!!

蚯蚓でも
飼ってるんで!?

蚯蚓でも……!!
みみず

なッ腔内なかに……!!

フアアツ お内儀さんッ
腔内なかがと……とんでもねえッ

ああああッ
硬いッ!!
とっても硬い!!

ぱん
ぱん
ぱん

ぱん
ぱん
ぱん

ああ三河屋さんの
ちんぽ硬い!!
酒瓶より硬いっ!!

それにこのちんぽ
とっても
良い形態かたちいっ!!

お
お内儀さんっ...

ぬちゅぷ
ちゅぷ
くろ
ぶひ

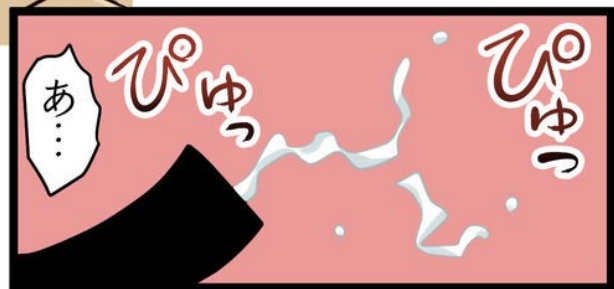
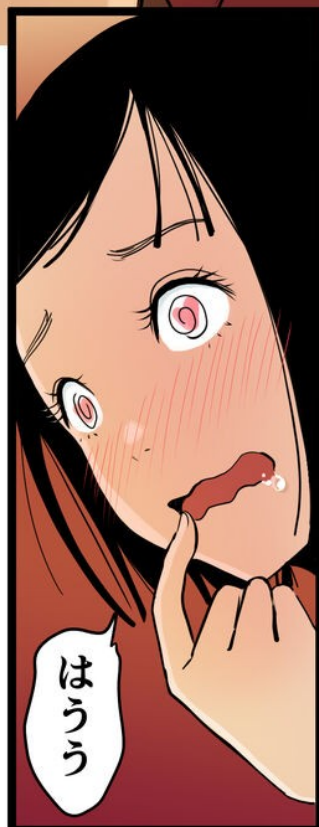
気持ち良すぎて
おかしくなっち
まう.....!!

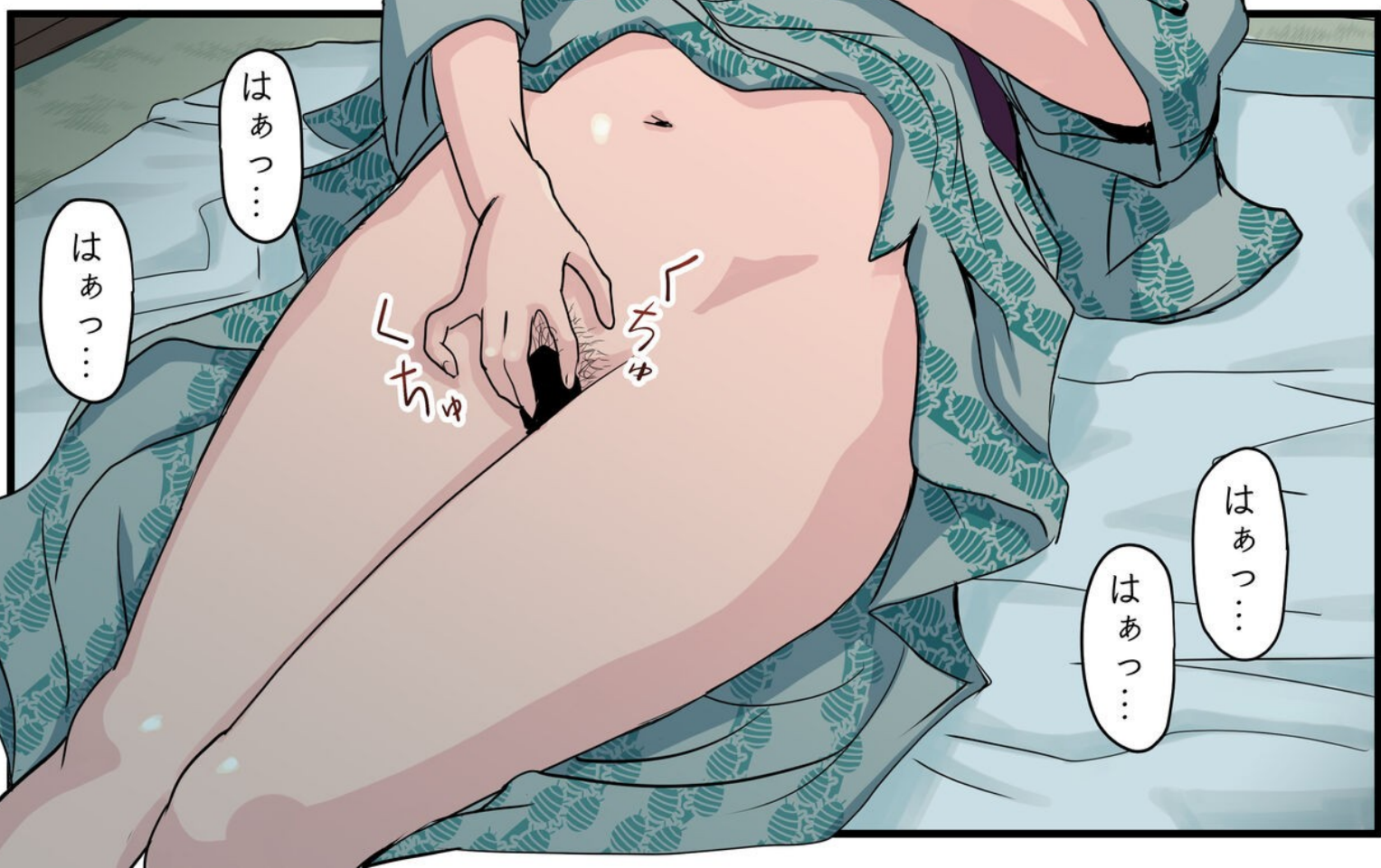
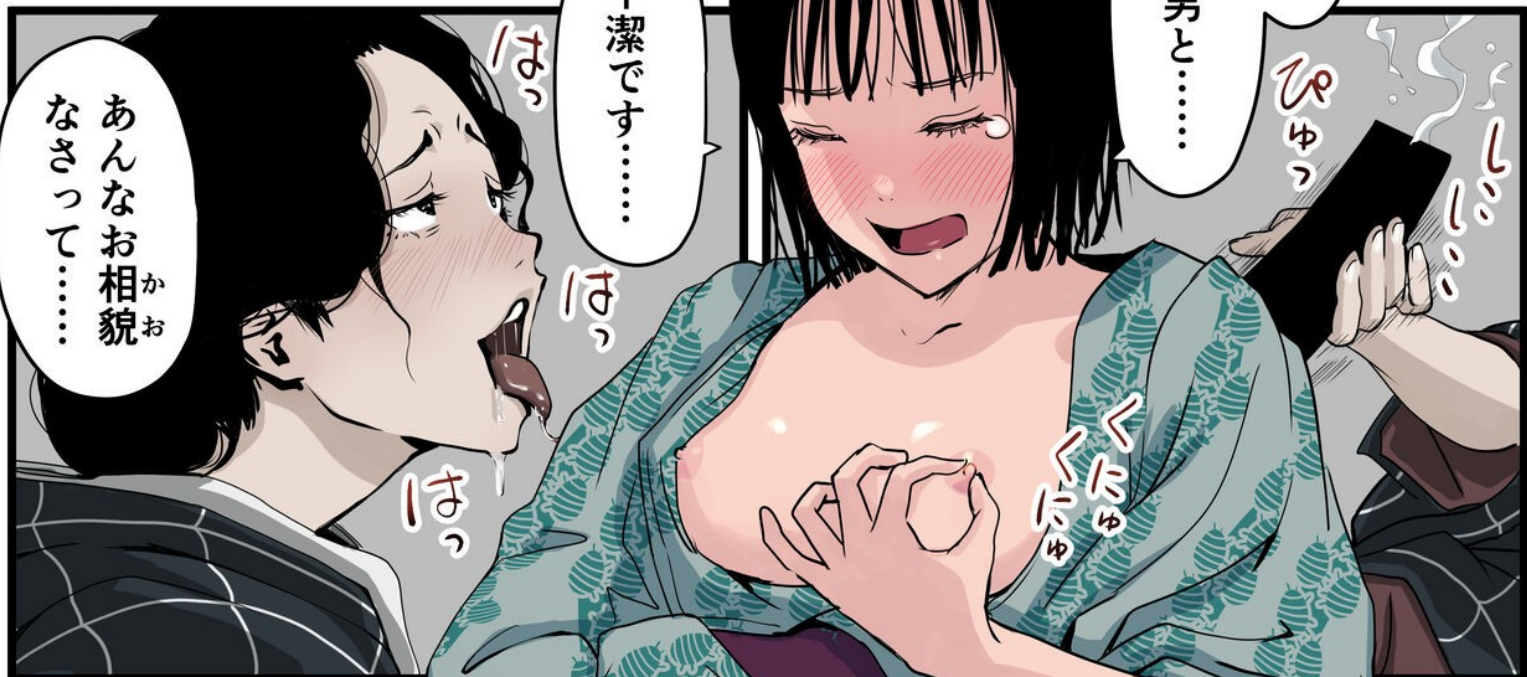
はわわ

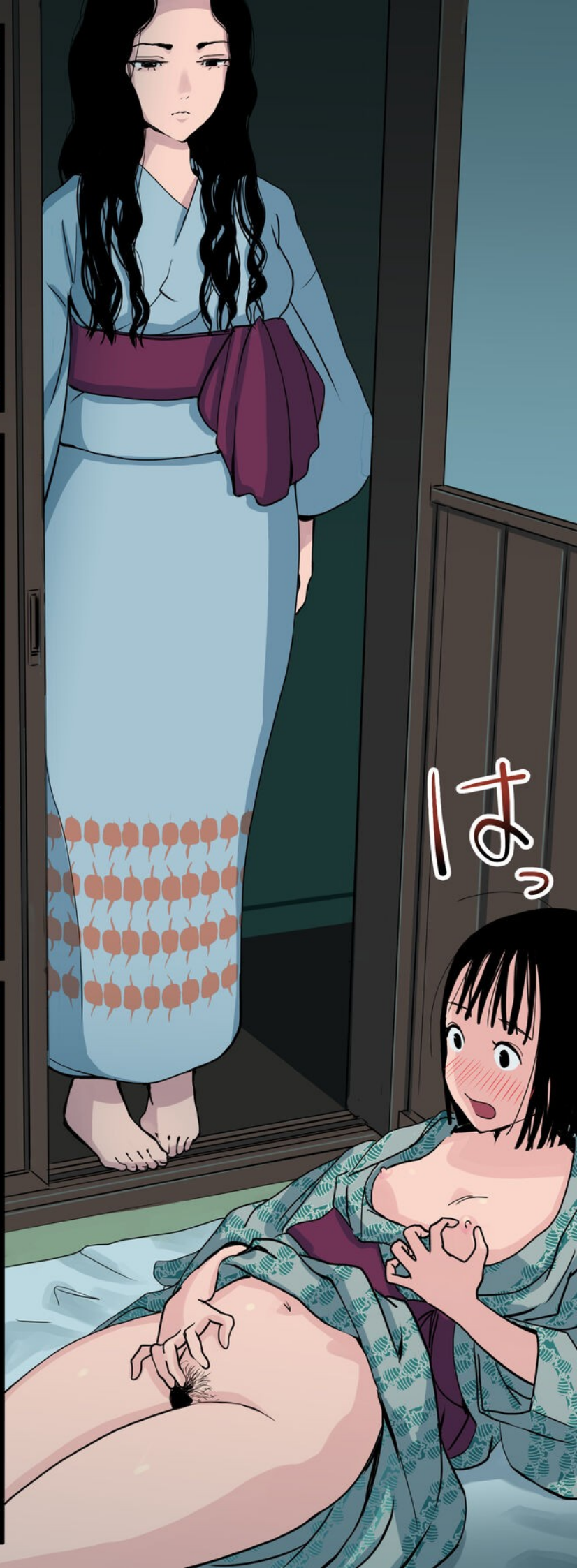
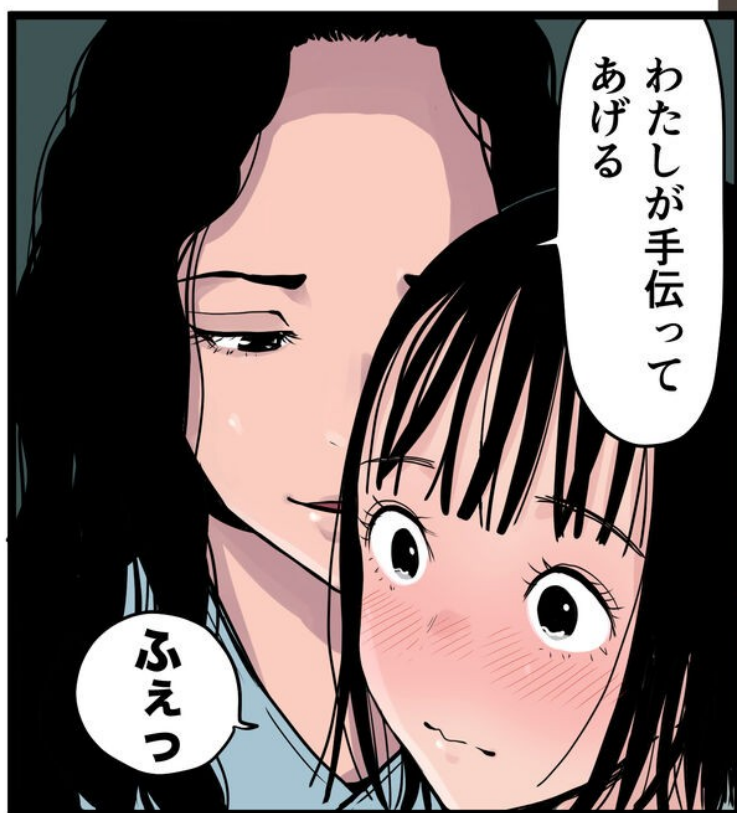
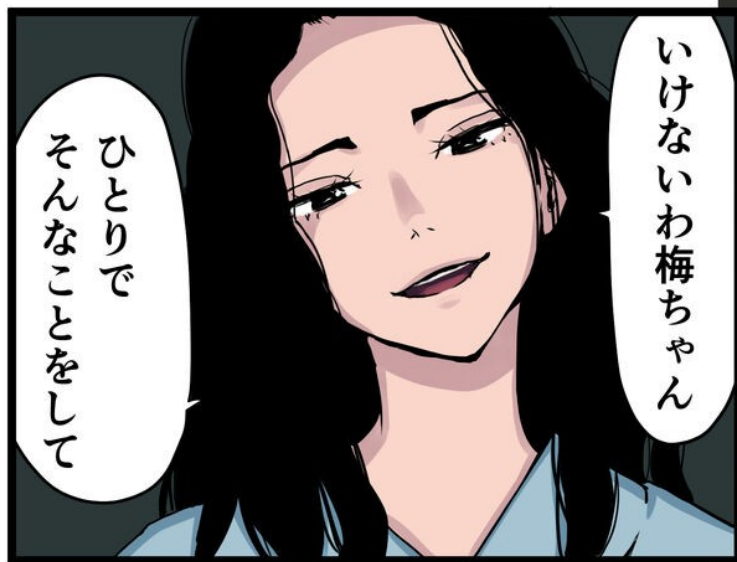
もっと速く強く!!
突き上げて!!

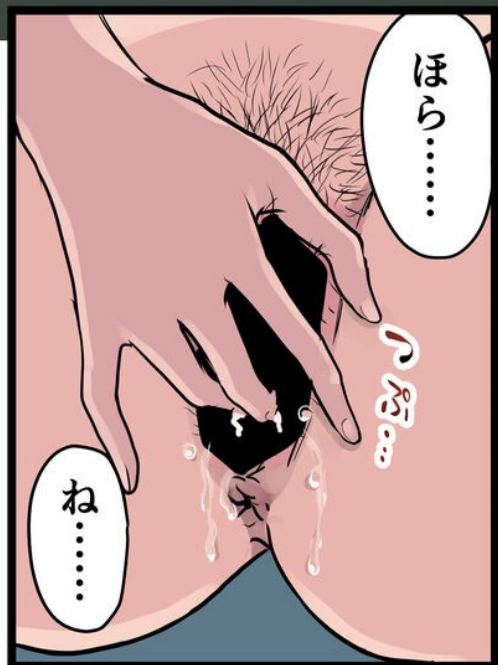
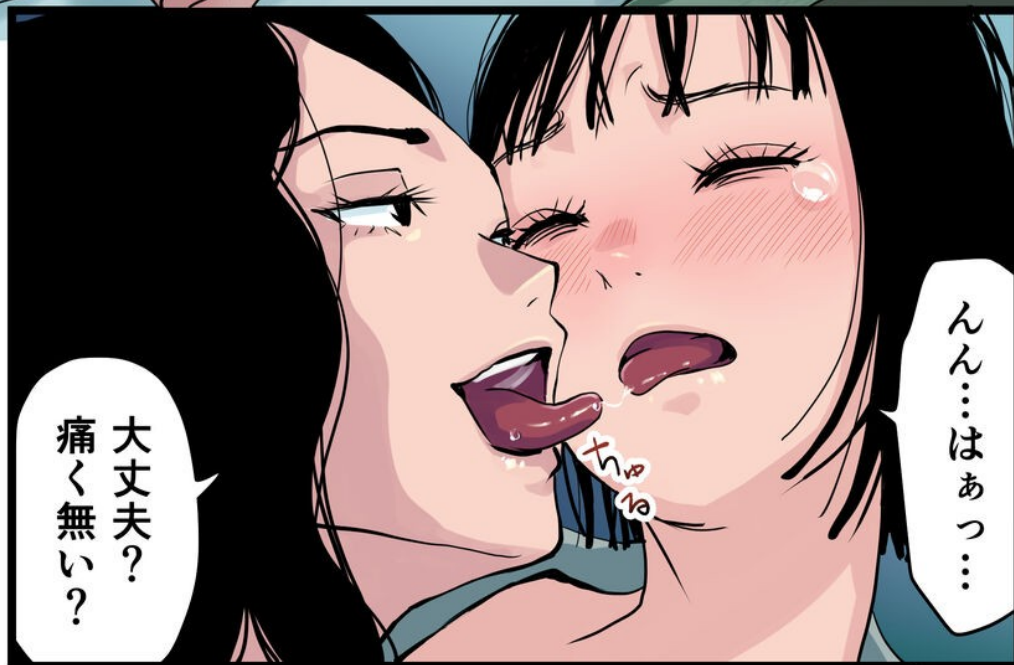
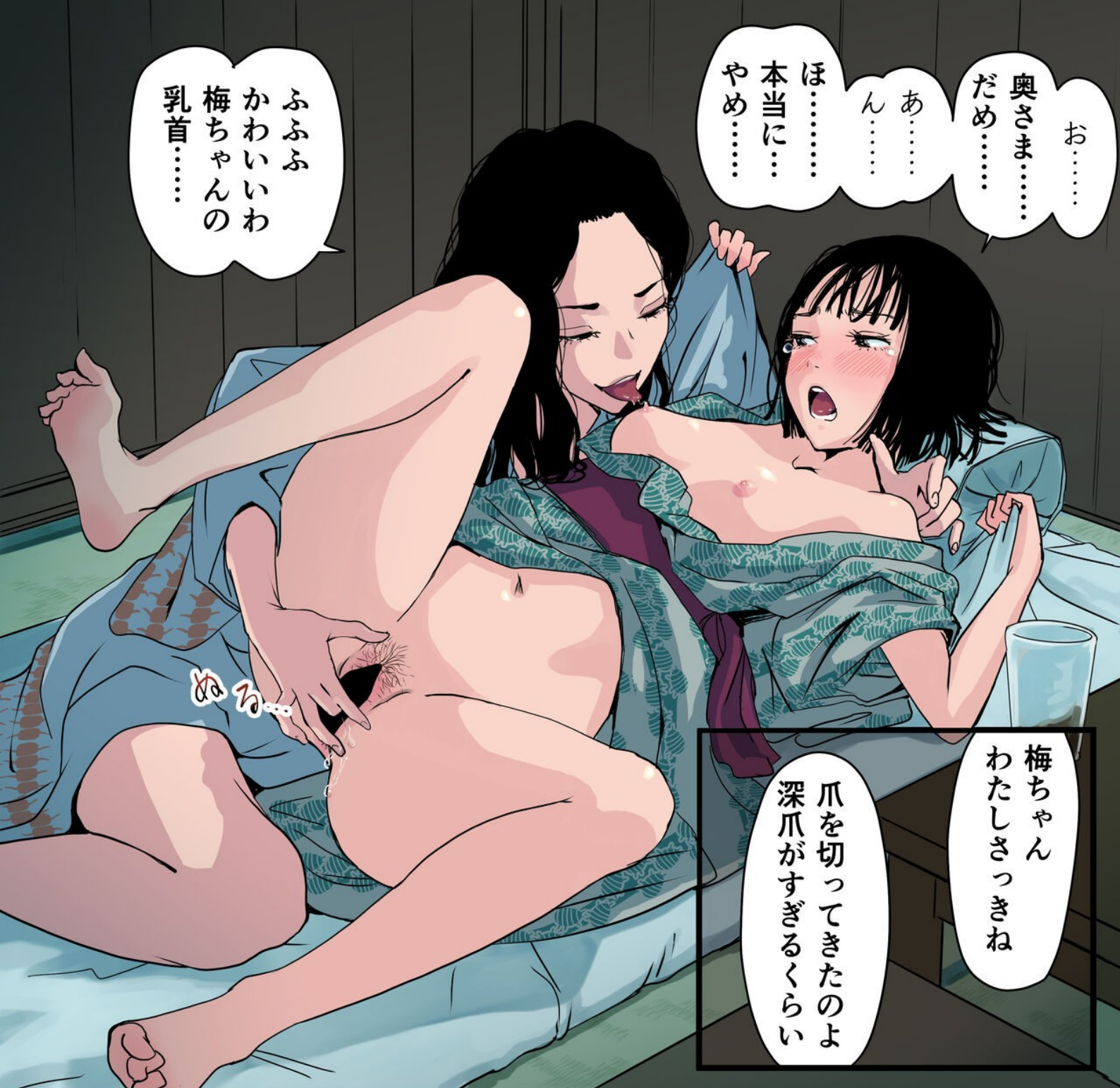
ああ本当に
良いちんぽ!!

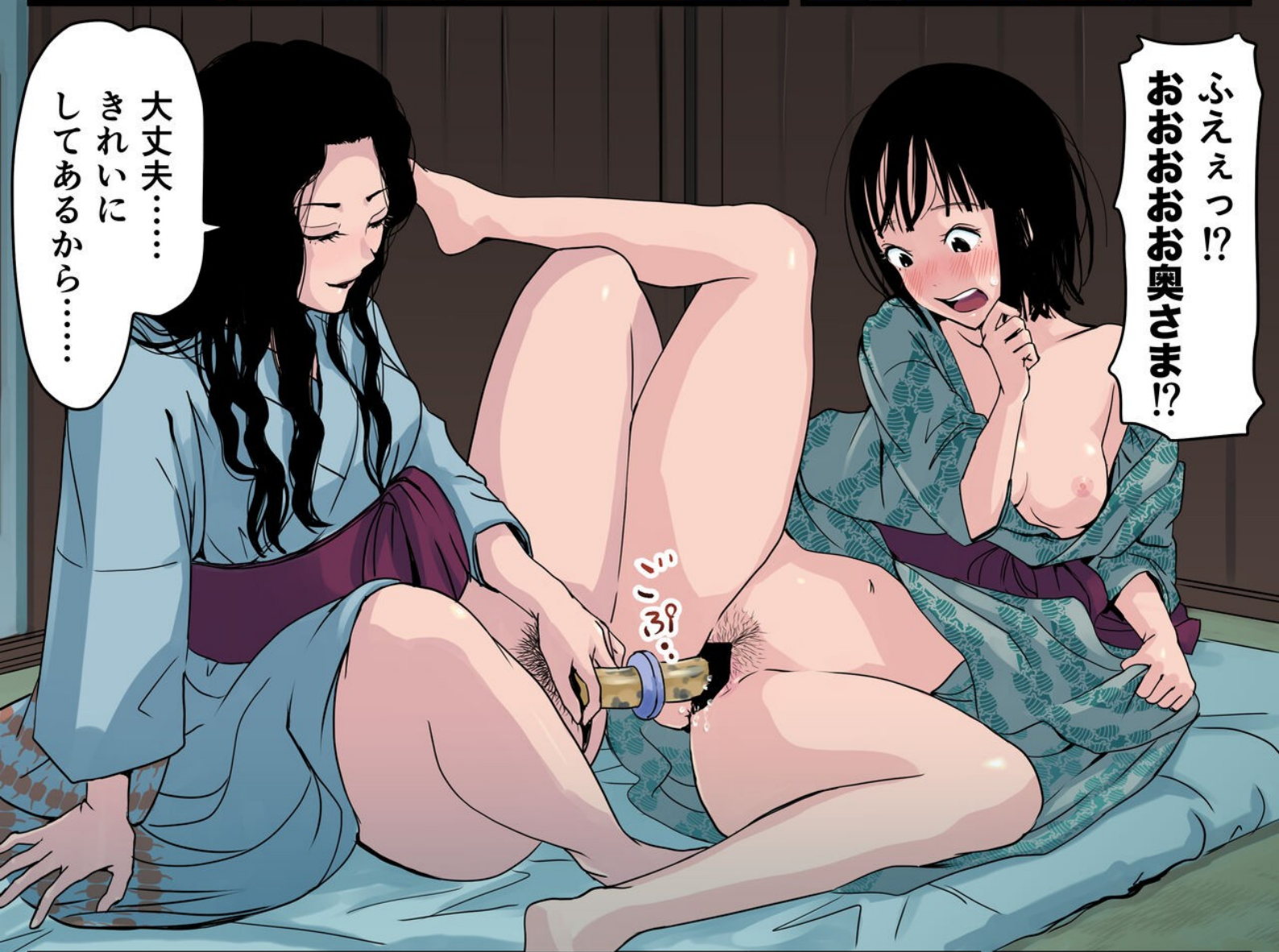


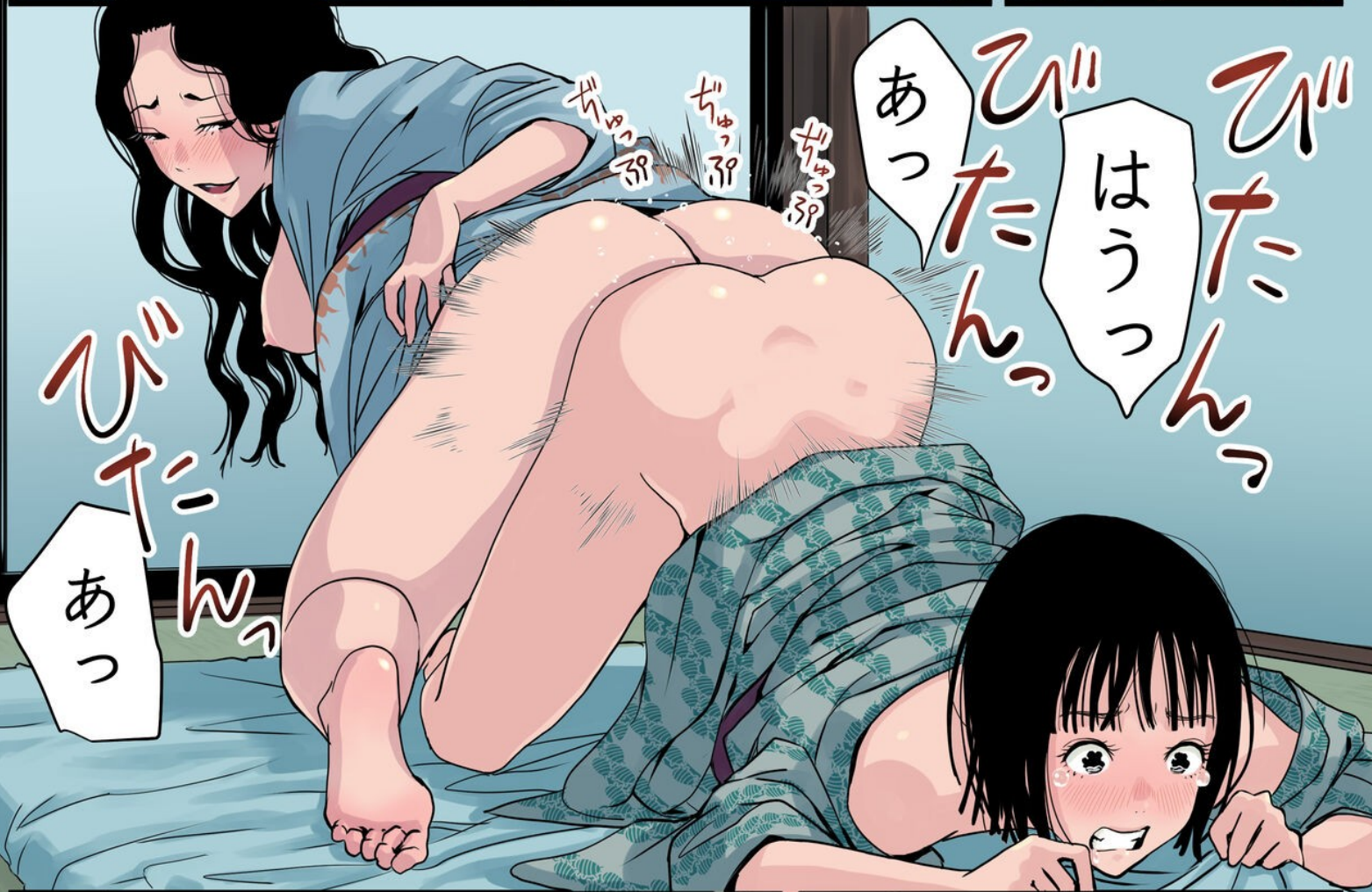
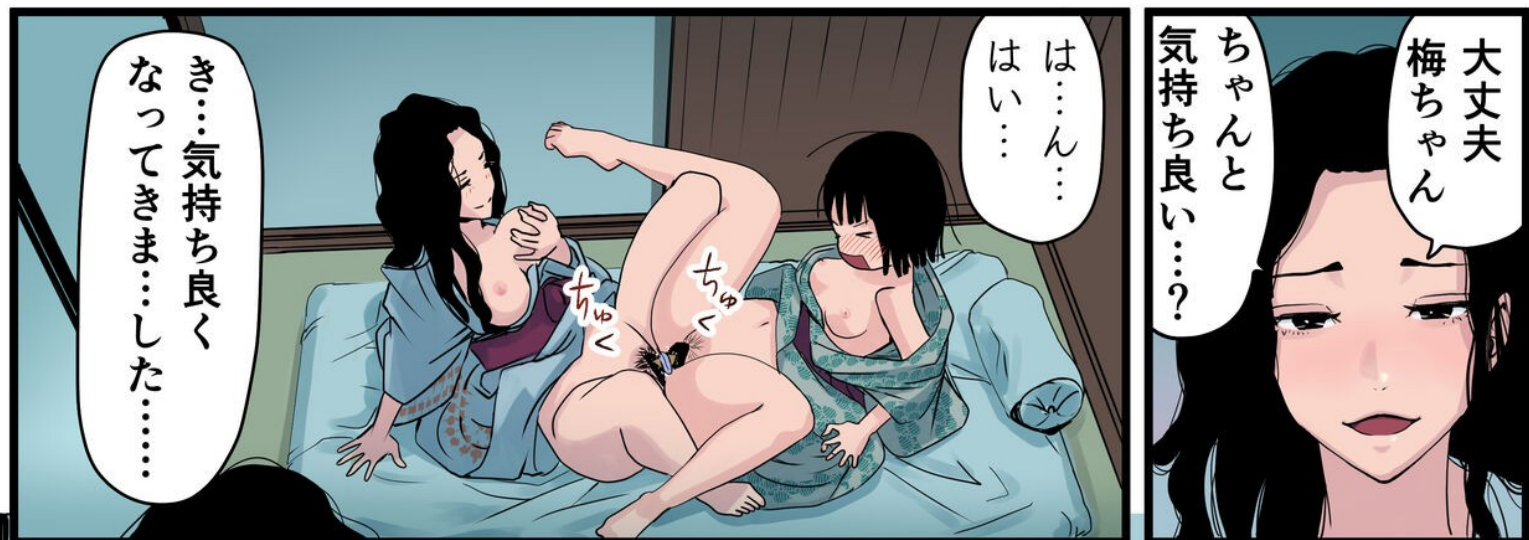












奥さまが
こんな……こんなあられもない
お姿をされて……

ほら
梅ちゃん

あ

私のおまんこに
入っているとこ
ろ
いっぱい視て……

こんないやらしいお顔で
こんなはしたないお言葉を……

あ

私はそれだけで……

あ

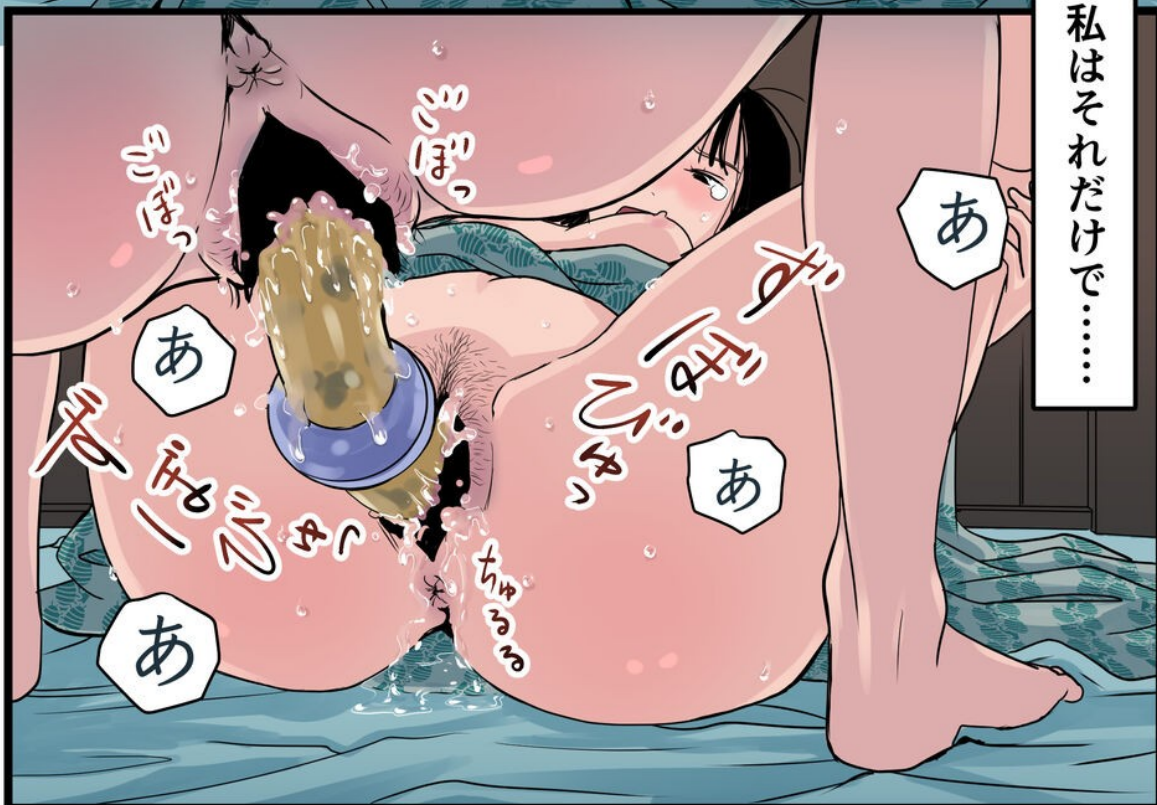
あ

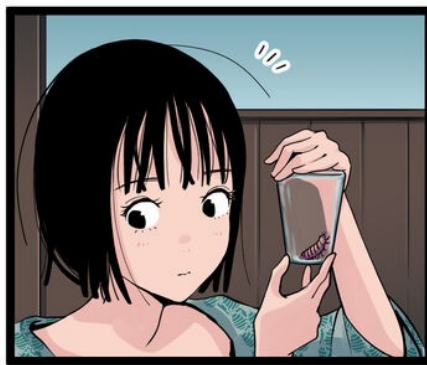
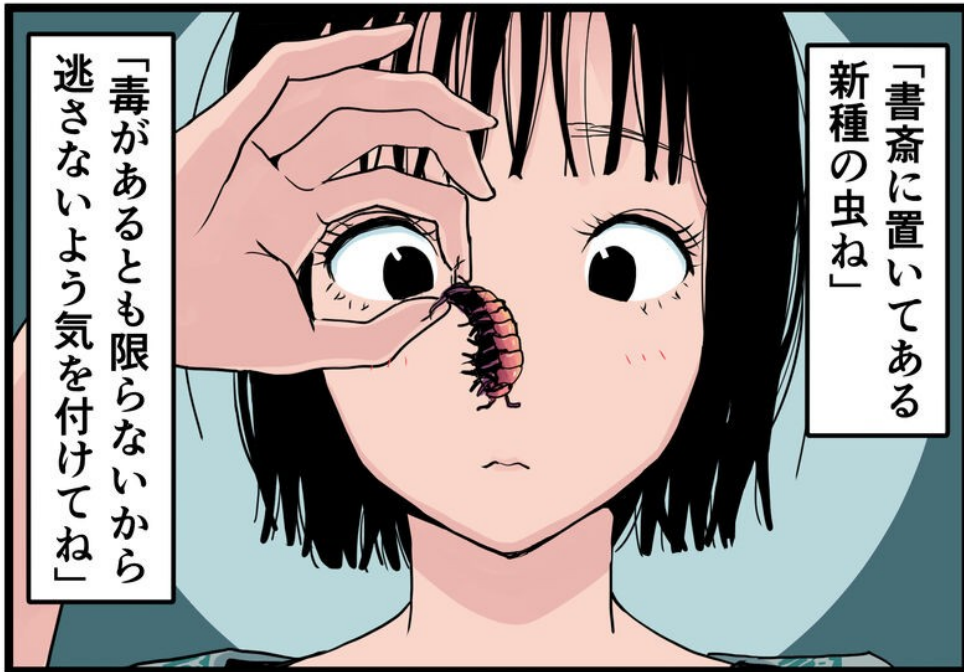
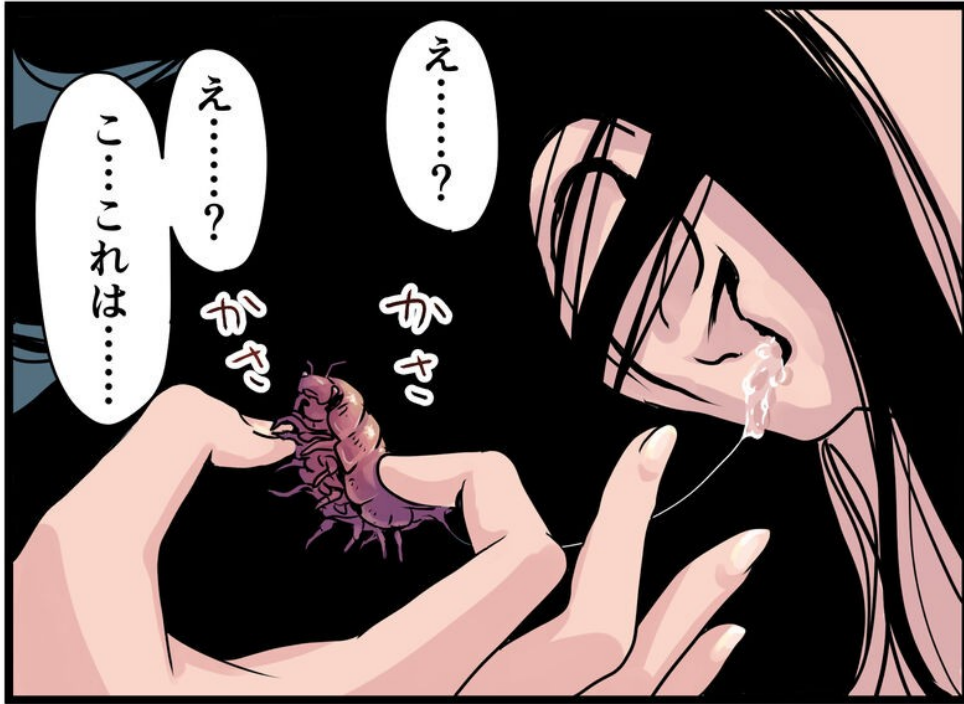
あ

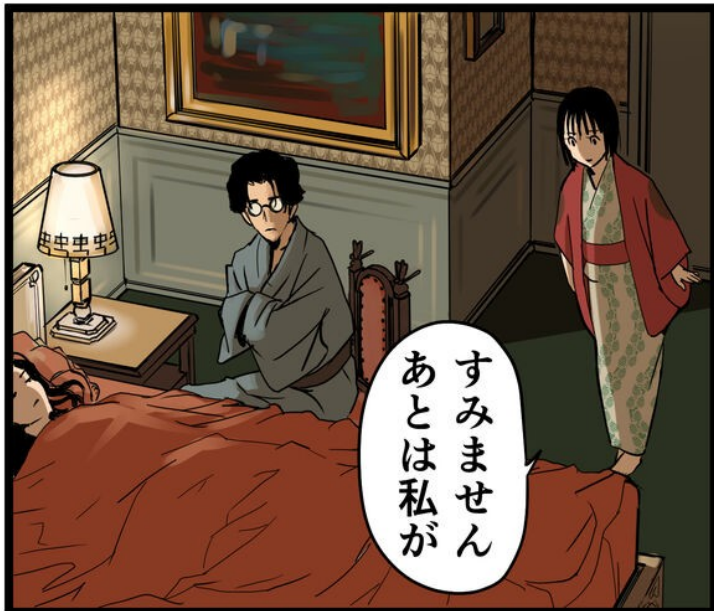
あ

あ

あああああつ!!







それではお梅さん
僕は休ませてもらいます

まあ兎に角
大事がなくて
良かった

は……
はい……

しかしこんな夜分に
ふたりで何をしていたのです？
しかも女中部屋で

いやそのあの
おっ女同士のお喋りを……

ふん

もぞ
ぞ

あああ……あ……
あの……

もぞ

あの……書生さん

み……

耳の辺りに
塵が付いて
ます

ずる
ずる……

どきどき
どきどき

ふん

……

ガッパ



はっ…

はっ…

れん

ちゅぽ



あ

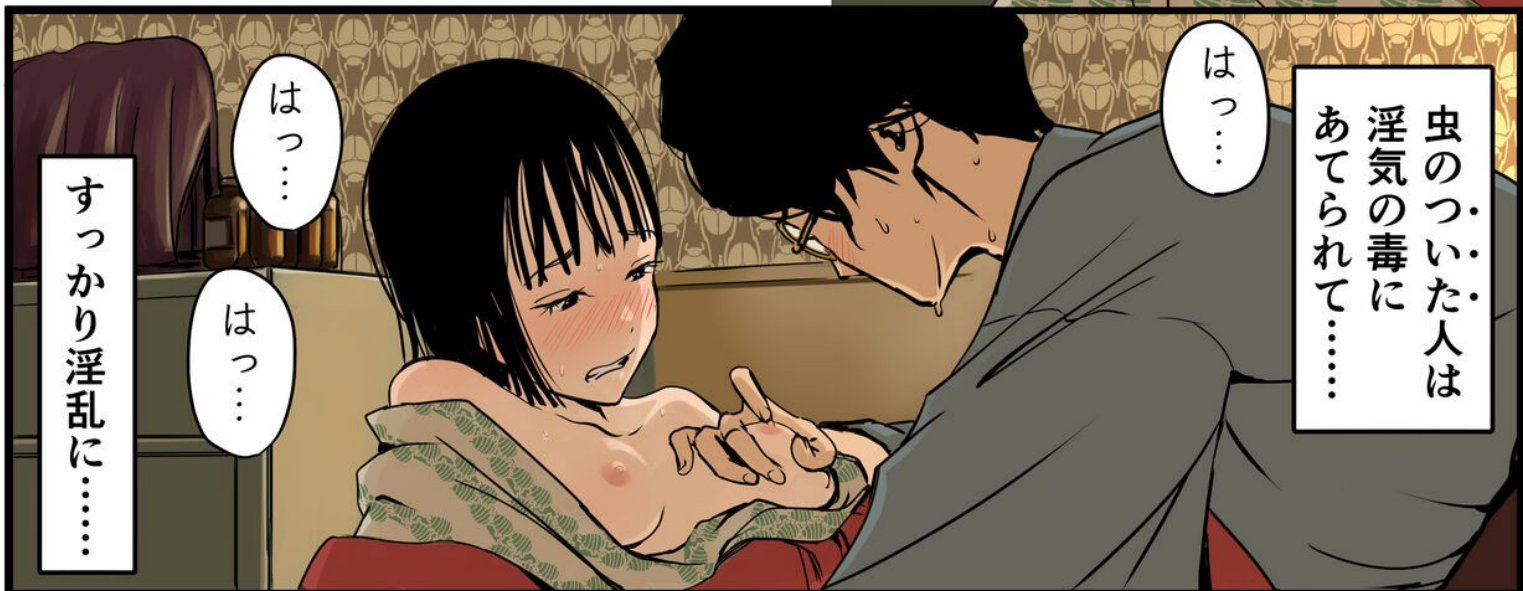


矢っ張り…

あの虫が悪さをして



ああ……



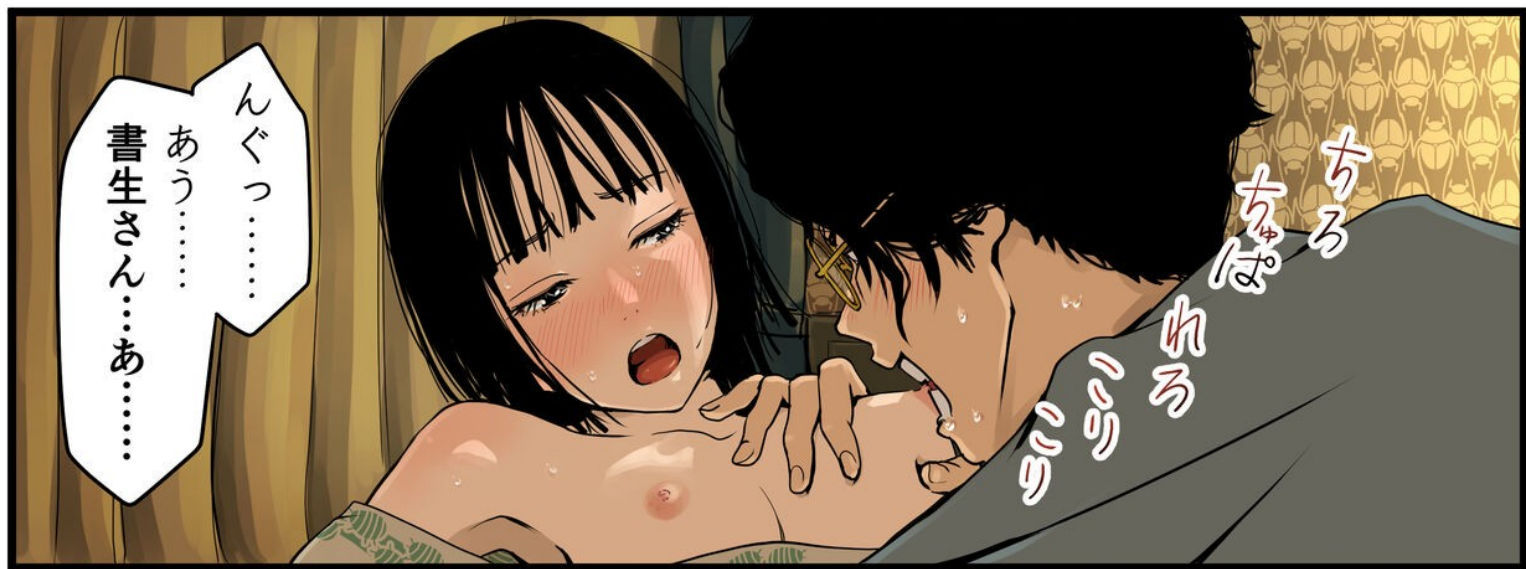
はっ…

虫のついた人は
淫気の毒に
あてられて……

はっ…

はっ…

すっかり淫乱に……





ちろちろと
舐めたり

奥さまが
三河屋さんに
していたように



……これが本物の
おちんちん
さっきの張形とは
全然ちがう

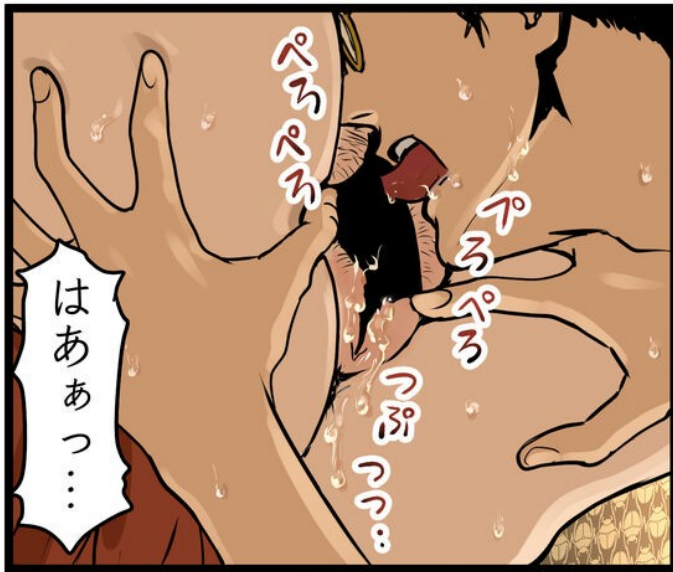
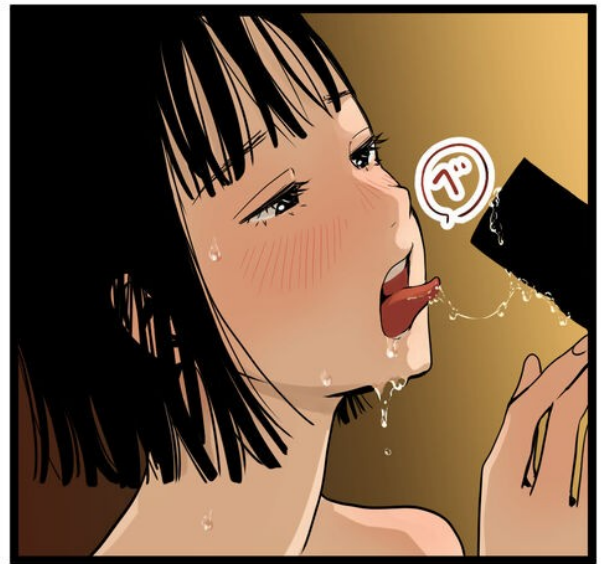
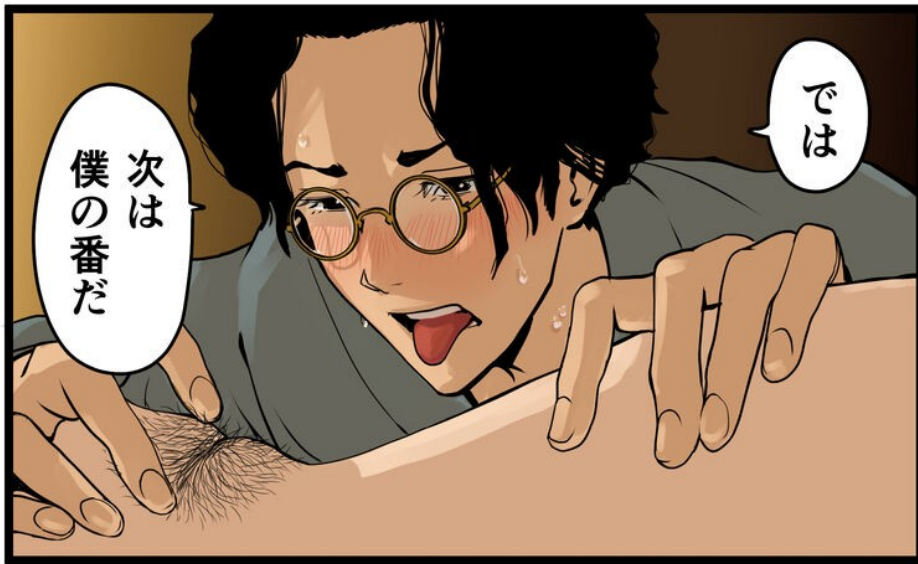


めいっぱい
吸い上げたり



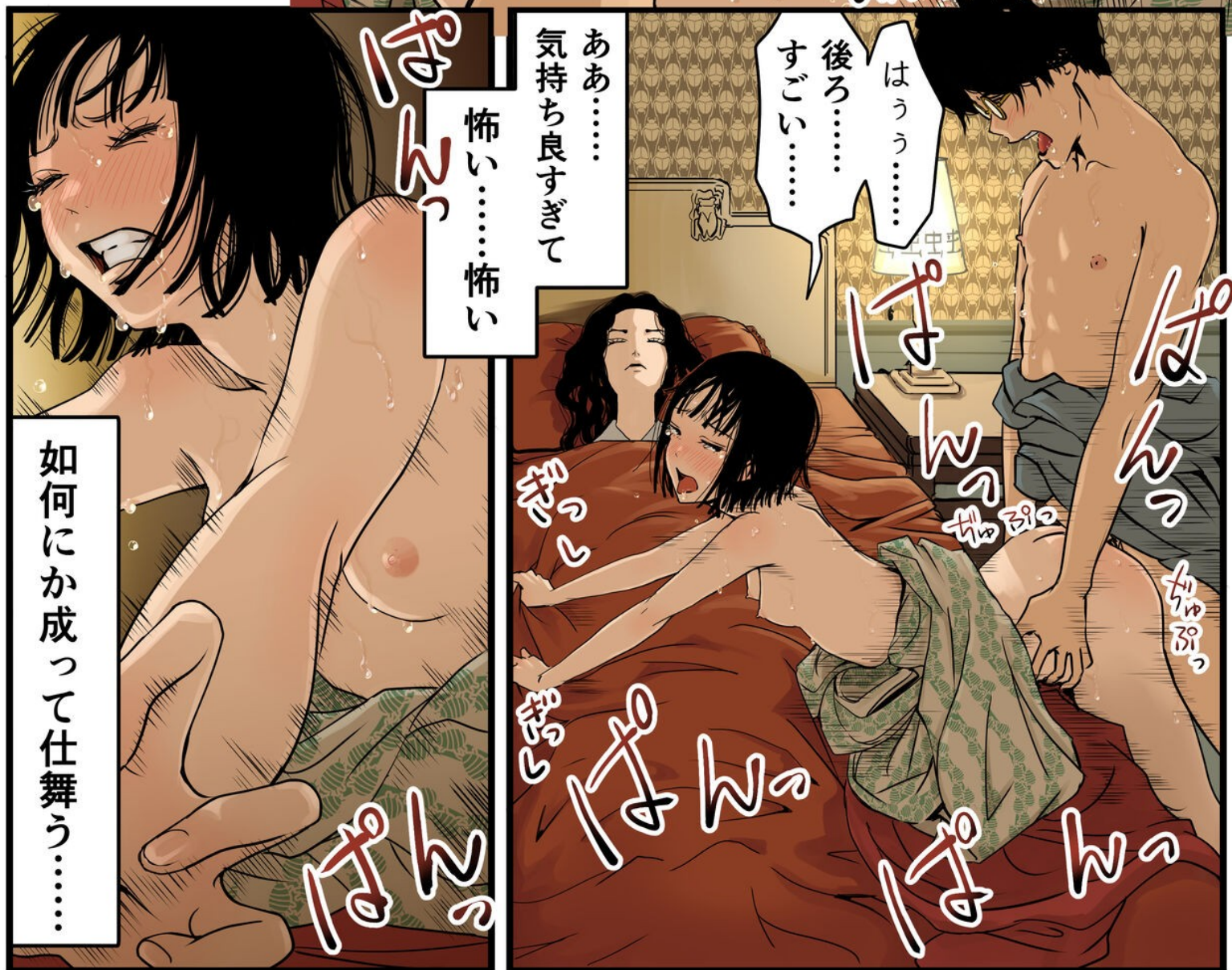
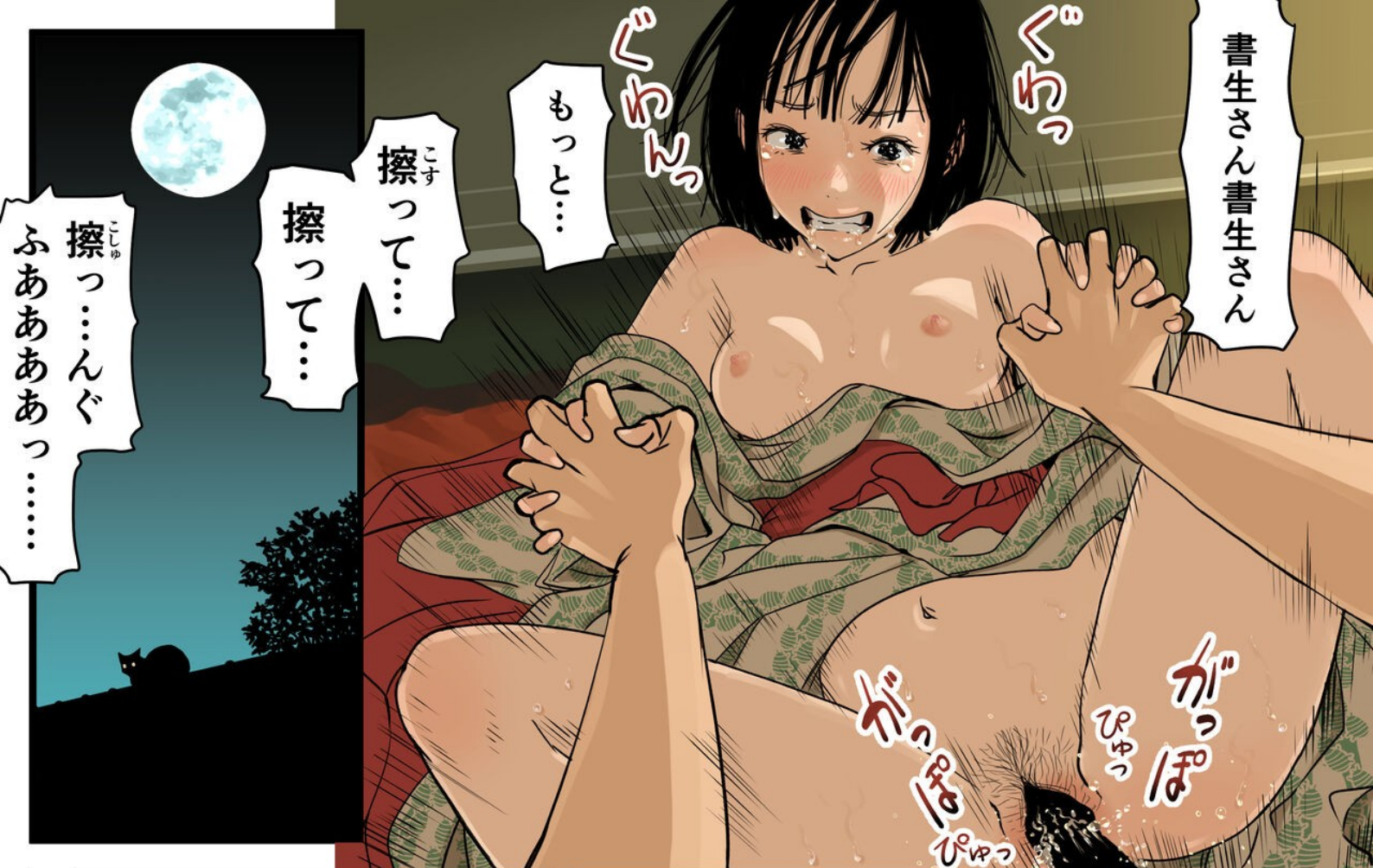
ああ…
こうしていると

書生さんの
おちんちんがなんだか
とてもいとおしい













そのおちんちんは
私だけのもの……



やめて書生さん

いや……
いや……



他の女に
使われるくらいなら

私が食べてやる……



か
ぶ



…何時の間にか…
私に…も虫…が…
……

ああ……
逃げ出したのは一匹
だけでなかったんだ



ふっ
ふっ
ふっ

もぞ



ふっ
ふっ
ふっ

……え

